

## 令和6年5月 「はこでみ親の会 フォローアップ！」

今回のフォローアップの会で皆さんと話し合ったテーマは、子どもの「スローペースな成長」についてです。

スローペースと言っても当の子ども本人は、常に一生懸命です。自分の親を初め学校の先生など周りにいる大人から毎日のように無理難題を突きつけられ一つ一つ対処するのに四苦八苦な状態です。(大人側は出来て当たり前と思っているので、無理難題とは思っていません。)

しかし、そんな懸命の努力の甲斐もなく、大人側の常識や同年代の驚くほど早い対応能力と比較され「どうして出来ないの?」「あなた以外みんな出来てるのよ!」と否定され一蹴されます。

保護者にとっては、同級生と比べて出来ないことが多い我が子を毎日見ることで、益々焦りが強くなり、どうにかしようと感情的で否定的な関わりが増えてしまう結果となります。

この状況が、誉めるに値する行動をしない我が子を毎日怒り続ける状態を作り上げていきます。

「発達障がい」と言っても発達しない訳では決してありません。特に苦手な面はゆっくりスローペースで成長していきます。(得意な面は勝手に伸びていきます)ただ、他の同級生の成長が満遍なく早すぎて、常に「遅い」「怠けている」「努力不足」などのレッテルを貼られてしまいます。

そんな時こそ「はこでみ親の会」の出番です！

親の会の保護者の皆さんと一緒に我が子のスローペースな成長を年単位で見守り支え続ける体制を作り上げ継続させていきます。

「親の焦りは子どもの意欲と比例しません」

その親の焦りを保護者同士で協力して落ち着かせ、大人側が期待していた成長ペースから大幅に遅れようとも、年齢や学年に関係なく我が子の努力を見逃さず認めていく姿勢を身につけていきます。

そんな大人側の根気や常識に囚われない視点が、子どもの人生を明るく前向きで意欲的なものに変えていきます！

